

令和2年度

事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

【はじめに】

令和2年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、北海道においても緊急事態宣言が発令され、指定管理施設の休館、自主事業（大会・イベント等）の中止を余儀なくされました。

5月に緊急事態宣言が解除された後も、新北海道スタイルでの新しい生活様式の実践、札幌市の感染拡大予防ガイドラインに基づいた制限付きの施設開放、事業の見直しや縮小が求められるなど、各事業に大きな影響を及ぼした年となりました。

1 指定管理施設の運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況（単位：人）

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北区体育館	99,718	15,193	114,911
東区体育館 ※1	22,097	4,294	26,391
白石区体育館	103,268	10,873	114,141
厚別区体育館	76,014	14,405	90,419
清田区体育館・温水プール ※2	4,384	341	4,725
体育館	2,919	341	3,260
プー　　ル	1,436	0	1,436
体育館・プール共通	29	—	29
豊平区体育館	77,787	14,334	92,121
南区体育館	67,052	5,498	72,550
西区体育館・温水プール	169,731	11,811	181,542
体育館	102,479	11,811	114,290
プー　　ル	65,494	0	65,494
体育館・プール共通	1,758	—	1,758
手稲区体育館	73,392	12,159	85,551
北ガスアリーナ札幌46	90,759	50,736	141,495
中島体育センター	49,487	16,248	65,735
宮の沢屋内競技場	12,536	14,488	27,024
白旗山競技場	3,084	14,693	17,777
合　　計	849,309 (前年度 1,514,858)	185,073 (前年度 459,566)	1,034,382 (前年度 1,974,424)

※1 札幌市による保全工事のため5月1日から12月31日までの間休館。

※2 札幌市による保全工事のため6月15日からR3年3月31日までの間休館。

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
厚別温水プール	66,619	668	67,287
豊平公園温水プール	31,581	422	32,003
平岸プー　　ル	80,045	6,696	86,741
白石温水プール	40,170	1,259	41,429
手稲曙温水プール	54,654	890	55,544
東温水プー　　ル	62,372	2,118	64,490
合　　計	335,441 (前年度 552,302)	12,053 (前年度 31,702)	347,494 (前年度 584,004)

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
美香保体育館	33,222	51,514	84,736
体育館	10,026	9,616	19,642
スケート場	23,196	9,274	32,470
公園野球場	—	32,624	32,624
合計	33,222 (前年度 31,598)	51,514 (前年度 92,128)	84,736 (前年度 123,726)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	47,382	24,555	71,937
体育館	24,118	—	24,118
スケート場	23,264	24,555	47,819
月寒屋外競技場	397	10,079	10,476
ラグビー場	—	4,509	4,509
庭球場	—	5,541	5,541
弓道場	397	29	426
星置スケート場	10,286	22,170	32,456
どうぎんカーリングスタジアム	—	43,783	43,783
合計	58,065 (前年度 70,200)	100,587 (前年度 155,076)	158,652 (前年度 225,276)

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	30,477	72,082	102,559
野球場	—	39,043	39,043
陸上競技場	25,730	15,725	41,455
庭球場	—	15,513	15,513
補助競技場	—	1,801	1,801
スケート場	4,747	—	4,747
麻生球場	—	25,040	25,040
野球場	—	22,917	22,917
庭球場	—	2,123	2,123
平岸庭球場	—	10,313	10,313
厚別公園	35,398	67,820	103,218
主競技場	18,120	58,830	76,950
補助競技場	4,817	8,990	13,807
トレーニングルーム	12,461	—	12,461
合計	65,875 (前年度 68,688)	175,255 (前年度 529,635)	241,130 (前年度 598,323)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計
スポーツ交流施設 ^{※3}	24,338	33,278	57,616
屋内グラウンド	14,029	16,381	30,410
屋外テニスコート	—	9,444	9,444
パークゴルフ場	10,309	—	10,309
屋外球技場	—	7,233	7,233
イベント広場	—	220	220
合計	24,338 (前年度 78,126)	33,278 (前年度 785,782)	57,616 (前年度 863,908)

※3 札幌市における改修工事のため4月1日からR3年1月31日までの間休館（屋外施設除く）。

(単位：人)

体育施設合計	1,924,010 (前年度 4,711,687)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	53,499	—	53,499
西健康づくりセンター	60,281	—	60,281
東健康づくりセンター	23,307	—	23,307
合計	137,087 (前年度 301,298)	— (前年度 —)	137,087 (前年度 301,298)

(3) 札幌国際交流館の利用状況 (単位：人)

施設名	個人利用	専用利用	合計
国際交流館	41,312	12,546	53,858
プール	28,180	0	28,180
体育室	13,128	5,392	18,520
総合	4	—	4
ライラックホール	—	7,154	7,154
合計	41,312 (前年度 70,091)	12,546 (前年度 22,469)	53,858 (前年度 92,560)

※指定管理施設においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月14日から5月31日まで（西、東健康づくりセンターは6月14日まで）の間臨時休館した。

全施設合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	2,114,955
前年度利用者数	5,105,545
増減	△2,990,590

2 学校施設の開放事業/受託事業

(1) センター管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	170	31	16	16	233
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	352,688 (前年度 585,427)	7,991 (前年度 18,321)	8,934 (前年度 14,904)	3,262 (前年度 19,267)	372,875 (前年度 637,919)

(2) 自主管理校の利用状況（単位：人）

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	109	2	111
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	356,573 (前年度 563,039)	223 (前年度 2,573)	356,796 (前年度 565,612)

(3) プール開放の利用状況（単位：人）

施設区分	プー ル
開放校数	198
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	0 (前年度 45,004)

学校施設の開放合計

(1) + (2) + (3) (単位：人)

今年度利用者数	729,671
前年度利用者数	1,248,535
増 減	△518,864

※学校施設の開放事業においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、4月1日から7月31日まで開放を中止した。

※プール開放については、7月から8月の開放期間全て開放を中止した。

3 地域スポーツ普及振興事業（4,523事業 61,557人）

(1) スポーツ教室事業（4,477事業 50,690人）

各施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や、小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウオーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめのきっかけとなるプログラムを実施した（4,354事業 47,620人）。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそび い・ろ・は」などのスクール事業（51事業 549人）を継続実施するとともに、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」や「体操教室」（2事業 25人）、「カーリング」や「アイスホッケー」などのウィンタースポーツ活性化のための教室（65事業 2,366人）、新たに、施設間合同事業として市内を5グループに分けて施設を横断的に利用する「DO!スポ KIDS」（5事業 130人）など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

(2) スポーツ大会、スポーツイベント事業 (29 事業 1,345 人)

地域のスポーツ活動の支援となるテニスやフットサルなどの多種多様なスポーツ大会、アイスホッケー、カーリングなどのウインタースポーツ大会、ダンス発表会やアクロバット体験会などのイベント事業を開催した (26 事業 1,138 人)。また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的に、スポーツ教室受講生を対象とした大会や、供用時間外に行うスポーツナイトリーグなど、複数の管理施設合同の事業 (3 事業 207 人) を開催した。

※「さっぽろスポーツ DAY」「スポーツの日」「朝野球大会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(3) スポーツキャラバン事業 (10 事業 730 人)

町内会及び PTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

ア 出前講習会

民間企業などにおける体組成測定の実施 (1 事業 18 人)。

イ 指導員派遣

保健センターなどの講座への指導員派遣 (2 事業 712 人)。

ウ ニュースポーツ用具のレンタル

ストライクボードなどのニュースポーツ用具を貸出 (7 事業)。

(4) ウインタースポーツ塾

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(5) 歩くスキー常設コース事業／受託事業 (2 事業 白旗山 3,084 人／中島公園 4,798 人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

(6) ウオーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 910 人)

管理 5 施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟 (IWV) のイヤールウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

4 健康・体力づくり相談事業 (健康づくりセンター 397 事業 19,465 人)

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業 (28 事業 12,901 人)

ア 健康増進・健診事業 (8 事業 3,575 人)

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づき生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った (4 事業 705 人)。

また、健康診断を受ける機会が少ない 18 歳から 39 歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った (4 事業 2,870 人)。

イ 運動指導事業 (20 事業 9,326 人)

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム (13 事業 8,765 人)、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った (3 事業 487 人)。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った (4 事業 74 人)。

※「ウオーキング講習」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(2) 健診・指導業務／受託事業 (22 事業 604 人)

ア 健診事業（4事業 516人）

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務（7事業 57人）

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導（積極的支援・動機づけ支援）」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

また、上記の特定保健指導参加者で「運動お試し券」を持参された方に個別運動指導を行った。

ウ スポーツ庁補助事業（11事業 31人）

医療機関と連携した地域における運動の習慣化を目的とし、医師から運動を勧められている生活習慣病の予備群や治療中等の方、運動器疾患（膝痛・腰痛等）を持っている方に対し健康体力測定や運動教室、健康講座等を実施した。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業（347事業 5,960人）

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座（257事業 4,480人）のほか、子どもの体力・運動能力などの向上と、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室（69事業 573人）を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等を実施した。（21事業 907人）

※「運動指導従事者研修」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

5 国際交流推進事業（272事業 5,286人）

(1) 国際交流事業／指定管理事業（13事業 2,722人）

札幌国際交流館において、外国人とのスポーツ交流会「外国人とスポーツ交流をしよう！①YOGA」や海外のスポーツや遊びを体験する「ワールドスポーツフェスティバル」を開催したほか、施設ロビーでは「姉妹都市パネル展」や「フェアトレード紹介パネル展」などの展示会を実施し、市民の国際理解や多文化共生の取り組みを推進した。

※「世界ふれあいひろば」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(2) スポーツ教室事業など（259事業 2,564人）

幼児から成人までの幅広い年齢層を対象とし、技術の向上や、健康・体力づくりを目的として、テニス・水泳教室をはじめとする各種競技種目や、「ヨガ」「ZUMBA」などフィットネス教室、また小学生を対象とした「かけっこ教室」などを開催し、市民に継続的な運動の機会を提供した。

6 スポーツ大会・イベントの開催（40事業 12,859人）

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの普及・振興・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的向上に資することを目的に実施した。

ア 第61回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月8日（金）

会場：札幌国際交流館

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部を補助する。

事業数：31事業（31競技）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため22競技は中止

参加者数：8,395人（指定管理施設外：1,652人）

(2) 第43回北海道を歩こう

札幌市立真駒内中学校をスタートし、真駒内カントリークラブまでの10kmコースと支笏湖ポロピナイまでの33kmコースを歩く初夏の北海道を満喫するウォーキングイベント。

開催日：5月24日（日）

会場：真駒内中学校～支笏湖ポロピナイ

種目：10km、33km

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(3) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2020

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームでたすきをつなぎながら走るリレーマラソン。

開催日：9月12日（土）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(4) 第45回札幌マラソン

ア ハーフマラソン及び10kmは公益財団法人日本陸上競技連盟公認コース。

開催日：10月11日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム

種目：ハーフマラソン、ファンペア10km

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

イ 札幌マラソン2020 by TATTA

第45回大会の代替事業として、オンライン大会を開催した。

開催日：10月7日（水）～10月13日（火）（7日間）

種目：ハーフマラソン、ファンペア10km

参加者数：1,962人

ウ SAPPORO 応援 RUN

7月～9月（全3回）に参加料無料で（オンラインイベント）を開催した。

開催日：各月15日～28日（14日間）

種目：ハーフマラソン

参加者数：1,500人

(5) 第41回札幌国際スキーマラソン

ア クロスカントリースキーの普及を図る国際連盟「ワールドロペット」に加盟する国内唯一の大会。

開催日：2月7日（日）

会場：札幌ドーム、旧西岡オリンピック記念競技場を含む周辺コース

種目：スキーマラソン50km・25km、歩くスキー11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

イ Fun on Sapporo Virtual Race～札幌国際スキーマラソン2021～

第41回大会の代替事業として、ワールドロペットのバーチャルレーシングリーグの認定大会としてオンライン大会を開催した。

※バーチャルレーシングとは、各国の認定大会のうち7大会に参加し、完走することでバーチャルレーサーとして認定される制度

開催日：2月7日（日）～3月7日（日）（29日間）

距離：50km・25km・11km・5km・3km、キッズチャレンジ100m

種目：クロスカントリースキー・ローラースキー・スノーシュー・ランニング・ウオーキング・サイクリング

参加者数：718人（国内512人、国外206人）

ウ 札幌国際スキーマラソン presents～オリンピックと滑ろう～

元オリンピックによる市民向けクロスカントリースキークリニック「札幌国際スキーマラソン presents～オリンピックと滑ろう～」をサブイベントとして開催した。

開催日：2月13日（土）

会場：中島公園

参加者数：49人

(6) ほっかいどうこども運動教室

公益財団法人日本スポーツ協会が推進する子どもの運動不足解消のための運動機会創出プラン「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）を活用した運動遊び促進事業」として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う子ども運動不足の解消することを目的に実施した。

開催日：11月15日（日）

会場：北海道立総合体育センター

種目：かけっこ、ボール運動

参加者数：105人

(7) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 明日のアスリート研究所（アスアスラボ）

開催日：10月4日 朝原 宣治氏、3月20日 建山 義紀氏

参加者数：2事業 130人

※以下の事業は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

- ・第45回札幌小学生陸上競技教室（8月10日）
- ・第14回さっぽろトリム&ラン
- ・2020札幌30K（7月18日）
- ・ほっかいどう大運動会2021（オンラインで開催）
- ・さっぽろスノースポーツフェスタ2021

7 スポーツの競技力向上及び普及促進に関する事業（108事業 5,577人）

(1) 加盟53団体及びスポーツ団体等に対する組織強化、指導並びに育成に関する事業（2事業 123人）

ア スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人北海道スポーツ協会及び、北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

イ 加盟競技団体への指導・助言など

加盟団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行った。

また、加盟団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

(7) 加盟団体理事長・事務担当者会議

開催日：2月26日（金）

会場：ホテルライフオーツ札幌

内容：令和3年度各種補助金事業取扱について 他

参加者数：48団体 65人

(1) 加盟競技団体ガバナンスコード講習会

開催日：3月18日（木）

会場：ホテルライフオーツ札幌

講師：公益財団法人日本スポーツ協会 企画調整課 課長 加藤 錬 氏

内容：スポーツ団体ガバナンスコードの設置経緯説明 他

参加者数：42競技団体 58人

その他：加盟全競技団体に対し、当日の講義内容及び質疑応答を収録したDVDを配布した。

(2) 競技力向上・普及促進事業（63事業 5,379人）

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会（1事業 45人）

開催日：11月7日（土）

会場：ホテルライフオーツ札幌

内容：第1部 観るスポーツから支えるスポーツへ

～社会全体で考えるアンチ・ドーピング活動～

講師：北海道医療大学薬学部 特任教授 笠師 久美子 氏

第2部 コロナ禍におけるスポーツ活動—医師の立場から

講師：札幌医科大学保健医療学部 教授 渡邊 耕太 氏

参加者数：45人（うち、オンライン 26人）

その他：自宅で受講できる環境整備のため、オンラインによる同時配信を行った。

イ 競技力向上事業（43事業 3,454人）

(7) 加盟団体が行う選手強化育成事業への経費補助

（19団体 34事業、参加者2,781人 指導者505人）（指定管理施設外：1,841人）

(1) 加盟団体が行う指導者育成事業への経費補助

（6団体 9事業、参加者133人 指導者35人）（指定管理施設外：42人）

ウ 普及促進事業（19事業 1,880人）

(7) 加盟団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

（10団体 12事業、参加者792人 指導者180人）（指定管理施設外：739人）

(1) 加盟団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

（4団体 7事業、参加者722人 指導者186人）（指定管理施設外：594人）

(3) さっぽろアスリートサポート事業（38事業）

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業（1団体 1事業 1件）

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業（32団体 11事業 91件）

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業（26 団体 26 事業 26 件）

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業（5 事業 75 人）

2030 年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催を見据え、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの輩出を目指したジュニア世代の発掘・育成事業を行った。

ア 発掘事業

スポーツ施設利用者や少年団に所属する子どもを対象に、運動に対する適性テストを行い、将来有望な子どもたちを見出し、育成事業の参加につなげるため、スポーツ戦略アドバイザー（阿部 雅司氏）と、より優れた人材を発掘する評価方法等について、令和 3 年度からのセレクション実施に向けて協議した。

イ 育成事業（5 事業 75 人）

冬季 5 種目 75 人（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディック・コンパインド）の競技団体と連携し、2030 年までの長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

8 スポーツ少年団の普及及び育成に関する事業（7 事業 3,938 人）

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った（登録数 258 団 4,119 人）。

(1) 派遣事業

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(2) リーダー育成事業

札幌市スポーツ少年団リーダー養成研修会の開催（12 月 5 日）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(3) 各種目交流大会（5 種目 6 事業 3,917 人）

軟式野球（1,760 人）、ミニバスケットボール（1,869 人）、バドミントン（2 事業 204 人）、冬季スポーツ（30 人）、バレーボール競技の交流大会（54 人）を開催した。

(4) 指導者育成事業（1 事業 21 人）

ア スタートコーチ養成講習会の開催（11 月 14 日）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

イ 指導者・母集団研修会の開催

開 催 日：令和 3 年 2 月 6 日（土）

会 場：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）

内 容：第 1 部 スポーツ安全保険について

講 師：公益財団法人スポーツ安全協会 北村 絵美 氏

第 2 部 熱中症予防について（DVD 上映）

第 3 部 ウイルスに負けない身体づくりのための食生活

講 師：(株) ウェルネスプランニング代表/管理栄養士 小松 信隆 氏

(5) 表彰

ア 北海道スポーツ少年団表彰（10月20日）

指導者の部2名表彰

イ 札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

青少年の部1名、団体の部2名、育成者の部1名表彰

※式典は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

9 さっぽろグローバルスポーツコミッション事務局機能の移管に伴う協同事業（8事業 2,366人）

さっぽろグローバルスポーツコミッションの事務局機能を公益財団法人札幌国際プラザから移管するとともに、同組織の委員及び戦略委員に就任し、国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

(1) 大会・合宿誘致事業（2事業 28人）

ア 2021 ワールドパラノルディックスキージャパンカップ札幌大会への協力（白旗山競技場）

イ カナダ女子ゴールボールチームバーチャル視察（南区体育館・札幌プリンスホテル）

(2) スポーツツーリズム推進事業（5事業 2,245人）

e スポーツ体験会などの実施、新規客層の獲得やウインタースポーツ振興を目的とした「ナイトクロカン in ホワイトイルミネーション」を実施し、今後のインバウンド向けプロモーション事業や事業推進に向けた調査検証事業を実施した。

ア 「e-KIDS」及び謎解きイベント（札幌オリンピックミュージアム）

イ ナイトクロカン in ホワイトイルミネーション（中島公園歩くスキーコース）

ウ 中国市場・欧米豪市場インバウンド向けオンラインプロモーション

エ 札幌市内・ニセコ圏スキー場（11施設）属性・周遊意識調査等事業

オ 「温泉×スキー」コンテンツポテンシャル調査のためのモニターツアー検証（定山溪温泉・札幌国際スキー場）

(3) スポーツボランティアの啓発普及事業（1事業 93人）

スマイルサポーターズの登録管理と「小学校スキー学習支援事業」をモデル実施し、5校のスキー学習授業にボランティアを派遣した。

ア スマイルサポーターズ登録管理 登録者数：1,143人

イ 小学校スキー学習支援事業（市内スキー場3施設・学校グラウンド2校）

10 障がい者スポーツの促進に関する事業（4事業 39人）

(1) 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市のスポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

(2) 各区体育館における障がい者スポーツ体験会／受託事業

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

(3) 冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業／受託事業（3事業 25人）

障がい者スポーツの中でも特に指導者が不足しているウインタースポーツに関して、養成講習会と指導の場となる体験会を開催した。

ア シットスキーサポーター講習会及び体験会（中島公園）

イ バイスキー指導者養成講習会及び体験会（藤野野外スポーツ交流施設）

※「バイスキー指導者養成講習会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

- (4) 冬季障がい者スポーツ体験イベント／受託事業
月寒体育館・月寒屋外競技場・どうぎんカーリングスタジアム。
※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

- (5) パラスポーツ理解促進イベントの共催（1事業 14人）
やってみよう楽しいスポーツ!ふれてみようおもしろいパラスポーツ!2020（北区体育館）

11 地域コミュニティ活性化事業（5事業 115人）

- 区役所、商店街組合、町内会などと連携し「厚別公園冬フェスタ」「ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2020」など地域活性化の活動・イベントに運営参画した。（指定管理施設内：5事業 115人）
※「水上安全無料講習会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

12 スポーツ及び健康づくりに関する調査研究及び情報提供

(1) 加盟団体情報の収集・提供

各加盟団体のホームページへのリンクを当協会ホームページに集約し、それぞれのページに容易にアクセスできるように整理した。

(2) イベント・教室などの募集情報の提供

新聞折り込み広告、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツ及び国際交流に関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっばー、北海道ランニングガイドなど）。

(3) 協会広報誌「ヘルス&スポーツライフ」の発行

健康・スポーツ及び国際交流情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」（Health & Sports Life：年4回、各10,000部）を発行した。

誌面には、札幌市を拠点に活躍するトップアスリートの特集インタビューを掲載した。

ア 120号～サッカー 菅 大輝氏（北海道コンサドーレ札幌）

イ 121号～ゴルフ 藤田 光里氏（ゼビオホールディングス）

ウ 122号～スキージャンプ 葛西 紀明氏（土屋ホーム）

エ 123号～アイスホッケー 藤本 那菜氏（デンソー）・藤本 奈千氏（ボルテックス札幌）

(4) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

また、コロナ禍での運動不足解消を目的に、自宅で出来る運動動画「運動不足の方へ健康エール」や子ども向けの運動動画「おうちでD0!スポ」をホームページで公開した。

(5) 科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

(6) お客様満足度の調査並びに情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況等について集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見等を収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

13 物品販売・貸付及び飲食店業

売店、自動販売機、コインロッカー、ドライヤー、レストラン、スポーツ用具貸出を実施した。

14 その他事業

(1) 関係団体との連携・協力事業

ア 「スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム」認定事業

登録会員としての認定事業である札幌国際スキーマラソン大会のオンライン大会を実施した。

イ 北海道歩くスキー協議会の運営

北海道内の歩くスキー、クロスカンリースキー11大会が加盟する同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図った。

ウ スポーツボランティアの育成支援

協会ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。また、スポーツイベントの活性化を図るため、NPO法人日本スポーツボランティアネットワークに加盟した。

※「スポーツボランティア研修会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

エ 「事業連携包括協定」の締結

北翔大学との「事業連携包括協定」により、大会の運営に学生が携わった。(1大会 28人)

また、協働事業として、北翔大学が運動プログラムの検証・分析を行う「運動あそび い・ろ・は」(6施設 316人)を実施した。

オ スポーツ指導者及び施設運営管理者の育成

一般社団法人幼少年体育指導士会との連携による「幼少年体育指導士認定講座」(38人参加うちオンライン参加26名)を開催し、健康・スポーツ施設の運営管理者及び指導者を育成した。

※「体育施設運営士養成講習会」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

カ プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

(7) 北海道コンサドーレ札幌

a クラブパートナー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌46にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドールズ」と協働で「チアダンス教室」

「アクロバット教室」を開催

(イ) エスポラーダ北海道

a オフィシャルパートナー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌46にて女子フットサルスクールを協働開催、その他6施設でSSAフットサル教室を協働開催

(ウ) レバンガ北海道

a オフィシャルスポンサー契約の締結

b 北ガスアリーナ札幌46、国際交流館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催

(エ) 北海道日本ハムファイターズ

a 手稲区体育館、北ガスアリーナ札幌46にてファイターズベースボールアカデミーを協働開催

キ 職員の派遣、役員就任など

「札幌市中学校体育連盟新人戦顧問」など、役員への就任による運営協力、「全道小学生女子ソフトボール大会」、「SAPPORO★ティネ・オータムトレイル」などのスポーツ大会の後援(69事業)を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

ク 高等教育機関と連携したデザインの制作

札幌市立大学デザイン学科と連携し、各施設で作成する配布物のデザイン向上に取り組んだ。

(2) 社会貢献及び環境美化活動

ア 環境保全活動

植栽などの実施、ペットボトルキャップの回収（回収累計 30,465.3 キログラム）、環境教育へのクリック募金への協力（寄付金額 240,000 円）、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。

イ 地域防犯活動

地域における防犯・安全活動への協力として、31 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

ウ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

エ インターンシップなどの推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界などの活動を支援した（受け入れ件数：4 件、延べ人数：13 人）。

オ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

カ サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

キ さぽーとほっと基金への寄付

各施設に設置の自動販売機売り上げに係る手数料収入の一部を「さぽーとほっと基金」に寄付し、自動販売機及び当協会ホームページにおいて周知をした。

ク 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金（募金額：80,416 円）及び北海道胆振東部地震災害義援金（募金額：令和 2 年度分 79,729 円、累計 175,910 円）、東日本大震災復興支援募金（募金額：令和 2 年度分 14,301 円、累計 1,790,194 円）、熊本地震災害救援募金（募金額：令和 2 年度 12,258 円、累計 462,969 円）などに協力した。

ケ 献血への協力

「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

15 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	2,114,955
学校施設の開放事業（講習会など含む）	729,671
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	20,036
合 計	2,864,662 (前年度 6,416,323)
増 減	△3,551,661

(2) 収支

収 入 3,601,812,265 円

経 費 3,742,355,100 円

16 処務の概況

(1) 令和2年度末役員・評議員

役 職	氏 名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会 長	生島 典明	2. 4. 1	2. 4. 1	非常勤
理 事 長	手島 久仁彦	2. 6. 26	2. 6. 26	常 勤
専務理事	川島 行雄	27. 6. 26	2. 6. 26	常 勤
常務理事	柴田 幸雄	2. 6. 26	2. 6. 26	常 勤
常務理事	長澤 茂嗣	2. 4. 1	2. 4. 1	非常勤
理 事	星 満	25. 4. 1	元. 6. 26	常 勤
理 事	前 淳一	元. 6. 26	元. 6. 26	常 勤
理 事	村田 祐一	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
理 事	沖 洋安	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
理 事	沖田 孝一	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
理 事	野坂 政司	2. 4. 1	2. 4. 1	非常勤
理 事	佐藤 勝美	2. 4. 1	2. 4. 1	非常勤
監 事	水野 克也	24. 7. 1	29. 6. 29	非常勤
監 事	高間 亨	30. 6. 27	30. 6. 27	非常勤
評 議 員	川初 清典	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	晴山 紫恵子	25. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	堀田 真理	29. 6. 29	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	前田 真子	元. 6. 26	元. 6. 26	非常勤
評 議 員	柳原 正明	28. 4. 1	29. 6. 29	非常勤
評 議 員	紺谷 好範	2. 6. 26	2. 6. 26	非常勤
評 議 員	田口 浩司	2. 6. 26	2. 6. 26	非常勤
評 議 員	田中 斉	2. 6. 26	2. 6. 26	非常勤
評 議 員	平澤 光志	2. 4. 1	2. 4. 1	非常勤

(2) 令和2年度末職員数

職種／性別	男 性	女 性	合 計
正 職 員	115 人	40 人	155 人
契 約 職 員	54 人	55 人	109 人
臨 時 職 員	10 人	3 人	13 人
パ ー ト 職 員	218 人	371 人	589 人
合 計	397 人	469 人	866 人

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回（書面開催） 令和2年4月1日	(1) 第1号議案 会長の選任について
第2回（書面開催） 令和2年6月11日	(1) 第1号議案 旧さっぽろ健康スポーツ財団令和元年度事業報告について (2) 第2号議案 旧札幌市体育協会令和元年度事業報告について (3) 第3号議案 旧さっぽろ健康スポーツ財団令和元年度決算（監査報告）について (4) 第4号議案 旧札幌市体育協会令和元年度決算（監査報告）について (5) 第5号議案 合併届の提出について (6) 第6号議案 理事の辞任に伴う新理事候補者名簿の承認について (7) 第7号議案 令和2年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について
第3回 令和2年6月26日	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 旧札幌市体育協会の資産及び負債等の受入れについて (3) 第3号議案 令和2年度収支予算の変更について (4) 第4号議案 公益目的支出計画の変更認可申請について (5) 第5号議案 理事会運営規則、理事の職務及び権限に関する規程の制定について (6) 第6号議案 諸規程の改廃について (7) 第7号議案 令和2年度第2回評議員会（みなし決議）の開催について
第4回（書面開催） 令和2年7月21日	(1) 第1号議案 諸規程の改正について (2) 第2号議案 「理事の職務及び権限に関する規程」の改正に伴う代行順序の決定について
第5回 令和2年9月25日	(1) 第1号議案 諸規定の改正について (2) 職務執行状況報告（理事長、専務理事、常務理事）
第6回（書面開催） 令和3年3月23日	(1) 第1号議案 令和3年度事業計画について (2) 第2号議案 令和3年度収支予算について (3) 第3号議案 役員等賠償責任保険契約への加入と内容について (4) 第4号議案 諸規程の改正について (5) 第5号議案 理事及び監事の辞任に伴う新役員候補者名簿の承認について (6) 第6号議案 令和2年度第3回評議員会（みなし決議）の開催について

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和2年6月26日	(1) 旧さっぽろ健康スポーツ財団令和元年度事業報告について (2) 旧札幌市体育協会令和元年度事業報告について (3) 合併に伴う北海道庁への届出等について

	(4) 第1号議案 旧さっぽろ健康スポーツ財団令和元年度決算（監査報告）について (5) 第2号議案 旧札幌市体育協会令和元年度決算（監査報告）について (6) 第3号議案 評議員の選任について (7) 第4号議案 理事の選任について
第2回（書面開催） 令和2年7月21日	(1) 第1号議案 「評議員及び役員の報酬並びに費用に関する規程」の改正について
第3回（書面開催） 令和3年3月30日	(1) 第1号議案 役員の選任について

(4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移 (単位：千円)

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期
経常収益	4,302,253	4,348,979	4,371,925	4,237,526	4,281,698	3,601,812
経常費用	4,110,747	4,104,954	4,275,598	4,195,775	4,316,136	3,742,355
当期経常増減額	191,506	244,025	96,327	41,751	△34,438	△140,543
経常外収益	-	-	-	-	93,483	165,566
経常外費用	-	-	1,517	205	-	-
法人税等	73,080	77,484	12,497	19,887	29,012	520
当期一般正味財産増減額	118,426	166,541	82,313	21,659	30,033	△24,504
期首一般正味財産額	1,073,373	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347
期末一般正味財産額	1,191,801	1,358,342	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851
当期指定正味財産増減額	-	-	-	-	-	52,000
期首指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
期末指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	72,000
期末正味財産額	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851
資産合計	2,836,470	3,003,222	3,053,332	2,994,717	2,969,520	2,872,565
負債合計	1,624,669	1,624,880	1,592,677	1,512,403	1,457,173	1,283,714
正味財産	1,211,801	1,378,342	1,460,655	1,482,314	1,512,347	1,588,851

(5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。